



編集・発行 長浜市文化財保護センター

〒526-0802 長浜市東上坂町981

tel:0749-64-0395 fax:0749-62-6357

E-mail:bunkazai@city.nagahama.lg.jp

ホームページ:http://www.city.nagahama.shiga.jp/

第204号

1: 新 長浜市指定文化財紹介

無形民俗文化財 ようかいち たいこおど 八日市の太鼓踊り

保存団体 八日市太鼓踊り保存会
おおまちじんじや いずみ
不定期、大町神社・和泉神社他

「八日市の太鼓踊り」が伝承されている八日市は、長浜市湖北町のほぼ中央を流れる高時川の右岸に位置し、集落の西を旧北国街道が通っています。湖北地方に分布する太鼓踊りは、その芸態上の特色から、伊吹山麓系・余呉川水系・高時川水系に分類されます。

八日市の太鼓踊りは、余呉川水系の太鼓踊りに分類されます。しかし、伊吹山麓系の踊りときわめて近い関係にあったと考えられています。余呉川水系太鼓踊りに属する太鼓踊りには、滋賀県選択無形民俗文化財に選択されている「延勝寺の太鼓踊り」があります。

八日市の太鼓踊りは、延勝寺の太鼓踊りとシャグマや芸態など共通点が多く見られ、余呉川水系太鼓踊りの成立を考える上で、八日市の太鼓踊りはきわめて重要な位置を占めています。「八日市の太鼓踊り」は、かつては「太鼓打ち」と呼ばれていました。延勝寺の太鼓踊りがおこないの行事に際し踊られていたのに対し、八日市の太鼓踊りは毎年恒例行事として行われてきたのではなく、雨乞いや寺社の落慶法要など、特別な機会に限って行われてきました。地元八日市の伝承では、江戸末期、干魃の際に雨乞いとして踊られたのが始まりと伝え、八日市、上山田、下山田、二俣の四ヶ村が合同で上山田の和泉神社に踊りを奉納したということです。八日市に残る踊り譜には四ヶ村が和泉神社に社参したとき、合同で奏する「四ヶ村道拍子」が残されています。

和泉神社所蔵の文書に、文化9年(1812)8月8日に上山田村、下山田村、二俣村、八日市村の庄屋と横目が雨乞いお礼踊りの時に用意する御神酒等について取り決めをした文書があり、八日市の太鼓踊りに関するものであると考えられます。

踊りを踊る際には、和泉神社(長浜市小谷上山田町)、大町神社(同湖北町八日市)、真願寺(同)で踊りを披露し、神社での踊りは「奉納」、寺での踊りは「お祭り」といって区別しました。いずれの機会にも、和泉神社では必ず踊る習わしでした。踊りは、小学3年から6年生の男子が務める小太鼓約10人、20才から30才の青年二人が務める大太鼓、大人が務める鉦2人、笛・音頭約10人からなります。小太鼓は白粉で化粧し



太鼓踊り風景

シャグマと呼ばれる鳥の羽を飾ったものを被ります。装束は朱色の弓ゆみこて小手にカルサンはを穿き、タスキを背中で化粧結びにします。鉦と大太鼓も同様の装束をし、笛・音頭は浴衣に鉢巻き姿です。鉦・小太鼓・大太鼓・笛・鉦の順に並んで〈道拍子〉囃子を奏しながら移動し〈練り込み〉で踊り場に入場します。〈練り込み〉により全員が踊り場に入ると、小太鼓らは神前を向いて横一列に並び一礼します。

その後、太鼓を中心に据えその周囲に〈祇園拍子〉〈道拍子〉で小太鼓が円形に並びます。〈場取り拍子〉〈廻り拍子〉〈足掛け拍子〉〈雷拍子〉〈立拍子〉〈居拍子〉と次々に披露踊りが披露され〈音頭入拍子〉で踊りを終え〈祇園拍子〉で一列になり退場します。(山崎)

2: 高月南遺跡第23次調査(高月町高月)

個人住宅建築に伴う調査で、対象面積 113.09 m²の内 27 m²について調査を実施しました。

調査の結果、現況面以下 0.86mまでが明黄褐色中礫、0.86 mから 0.96mが褐灰色シルト、0.96mから 1.04mがにぶい黄褐色極細粒砂、1.04mから 1.16mが黒褐色シルト質極細粒砂(地山)、1.16m以下がにぶい黄褐色シルト質極細粒砂。現況面以下 1.04mで検出された黒褐色シルト質極細粒砂が地山であると考えられます。



高月南遺跡第 23 次調査

試掘調査の結果、明確な遺構が認められたので本発掘調査を実施しました。検出した遺構は、竪穴建物、溝、柱穴です。

竪穴建物は 2 棟検出し、調査地の南東隅と北西隅で検出しています。南東隅の竪穴建物は一辺 3 m の竪穴建物で北西側の壁面際に土坑(1.4m×0.8m)が備わります。土坑の中からは、石斧が出土しています。北西隅の竪穴建物は調査地北西端で一部分のみ検出し、一辺の大きさは不明です。溝は南東隅の竪穴建物を切りながら調査地の北東隅から南中央方向へ流れます。溝の埋土からは須恵器が出土しています。柱穴は、溝を切っているため築造時期が溝より新しいです。

付近の調査では古墳や周溝墓を多数検出している他、竪穴建物も検出しています。今回の調査では、竪穴建物・溝・柱穴を検出しました。竪穴建物は弥生時代後期の遺構で、溝は古墳時代、柱穴は古墳時代以降の遺構です。

今回の調査により道路部分で検出していた集落域が北に広がることが判明しました。(牛谷)

3: 高月南遺跡第24次調査(高月町宇根)

個人住宅新築に伴う調査で対象面積 310.37 m²の内 62 m²について調査を実施しました。

調査の結果、現況面以下 0.80mまでが褐色土(盛土)、0.80mから 1.00mが黒褐色シルト、1.00mから 1.10mが褐灰色極細砂質シルト、1.10mから 1.20mが灰色極細砂、1.20mから 1.30mが黒褐色シルト質極細砂、1.30mから 1.40mが褐灰色極粗砂混極細砂。現況面以下 1.40mで検出された褐色細礫混極細砂が地山であると考えられます。

試掘調査の結果、明確な遺構が認められたので本発掘調査を実施しました。検出した遺構は、古墳・柱穴です。

古墳は2基検出していますが、すべて調査地内で部分的に検出したのみです。東側の古墳は調査地内で円形に回る周濠を持ち、周濠の規模は幅2.30m、深さ0.38mです。

西側の古墳は方墳と考えられ、以前道路部分を発掘調査した際に検出した方墳の続きであると考えられます。柱穴は西側の古墳の平坦面で10基検出しました。遺物は須恵器・土師器の細片が出土しました。

今回の調査により、以前調査を行った際に検出している方墳(西側の古墳)の続きを検出することができました。また、方墳(西側の古墳)の東側に円墳(東側の古墳)が接していることが判明し、さらに墓域が東方に広がることが判明しました。(牛谷)



高月南遺跡第24次調査

4: 大塚遺跡第37次調査(西上坂町)

携帯電話用無線基地局新築に伴う調査で、対象面積84㎡の内4㎡について調査を実施しました。

調査の結果、現況面以下0.22mまでがオリーブ黒色粗粒砂混極細粒砂(耕土)、0.22mから0.45mが灰色粗粒砂混極細粒砂(耕土)、0.45mから0.56mが褐灰色粗粒砂(上層に鉄分たまる)、0.56mから0.70mが灰黄褐色粗粒砂、0.70mから0.74mが暗褐色細粒砂。

現況面以下0.74mで検出されたにぶい黄褐色細粒砂混極細粒砂が地山であると考えられます。遺構は、柱穴を確認し、遺物は、弥生土器が出土しています。今後、本発掘調査を実施する予定です。(牛谷)



大塚遺跡第37次調査

5: 大円寺遺跡 第6次調査(高月町落川)

大円寺遺跡は古代を中心とした集落遺跡です。周辺の調査では竪穴建物や掘立柱建物などが多数見つかっています。

タクシー営業所新築に伴う試掘調査で、調査対象面積328.42㎡に対し3ヶ所のトレンチを設定し、3㎡について調査を実施しました。

調査の結果、現況面以下0.22mまでが暗灰黄色シルト(軟質)、0.22~0.38m黄褐色シルト(軟質)、0.38~0.60mがにぶい黄褐色シルト(軟質)、0.60mからが橙色シルトの地山となっていました。遺構は柱穴跡数基、土坑あるいは竪穴建物とみられる遺構が確認されました。遺物は土師器・須恵器・陶器・取鍋(とりべ=金属などを溶融させたものを入れるもの)が出土しました。(沢村)



大円寺遺跡第6次調査

6:雨森遺跡第6次調査(高月町雨森)

雨森遺跡は古墳～近世にかけての集落遺跡です。駐車場造成に伴う試掘調査で、調査対象面積 90 m²に対し2ヶ所のトレンチを設定し、4 m²について調査を実施しました。

調査の結果、現況面以下 0.08mまでが暗灰黄色シルトの耕作土、0.08m～0.36mまでがにぶい黄褐色～黄褐色シルト、0.36m～0.50mまでがにぶい黄褐色シルトの包含層、0.50m～0.70mが黄褐色～褐色土混灰白色シルトの包含層、0.70mからが灰白色土混黄褐色～褐色シルトの地山でした。遺構は竪穴建物とみられる一部と柱穴状遺構が見つかりました。遺物は須恵器・土師器・陶器が出土しました。
(沢村)



雨森遺跡第6次調査 完掘状況

7:井口遺跡第9次調査(高月町井口)

井口遺跡は、縄文時代から中世・近世までの複合遺跡として知られており、6世紀末以降に本格的に形成されたと推定されています。

これまでに行われた調査からは、6世紀末葉以降の竪穴建物や掘立柱建物を中心として、条里地割に伴う溝や自然流路、土坑墓などが検出されています。

今回の調査は個人住宅新築工事に伴う発掘調査で、約 200 m²について発掘調査を実施しました。

調査からは、5棟の掘立柱建物、溝、ピットなどが見つかりました。



井口遺跡第9次調査 完掘状況



井口遺跡第9次調査 体験発掘

掘立柱建物の内の1棟(SB-1)は、柱の掘り方が方形に近く、掘り方や建物の大きさが、他の建物と比べて大きいものでした。遺物の出土が大変少なかったことから、建物の時期を明らかにすることはできませんでしたが、一般の住居とは異なる、なにか特別な建物である可能性が高いと考えられます。

また、発掘調査の最中には、現場近くの富永小学校の1年生が発掘調査を見学にこられました。

最初は私たちがしている調査を見学していただけでしたが、そのうち「自分たちも掘ってみたい」との声が上がり、急きょ体験発掘を行うことになりました。

子どもたちは、とても興味深く、また熱心に発掘調査を体験してくれました。体験の後にはたくさんの質問をしてくれ、中には「大きくなったら発掘の仕事がしたい」といつてくれた子どももいました。

このような声は、歴史を未来につなぐ仕事をしている私たちにとって、たいへん励みになります。

未来の考古学者に期待！(山本)

8:土器づくりにチャレンジ！！ 小学生ら23人参加

『子ども考古学教室』が7月27日と8月17日に文化財保護センターで開かれ、子どもたちが「土器づくり」に挑戦しました。『子ども考古学教室』は昨年より行っている子ども向け体験学習教室で、今回が2回目の教室です。参加者は長浜市の全域から参加され、小学生23人（小学4年生から6年生）がセンター職員の指導により、古代の土器づくりに挑戦しました。長浜市は縄文時代、弥生時代と多くの遺跡があり、今回の合併でさらに多くの遺跡が市内全域に分布するようになりました。参加した子どもたちは、出土した色々な形の土器や土器の写真などを見ながらセンター職員の話を聞いた後、土器づくりを始めました。

7月27日の作業は、1kg余りの粘土をよくこね、直径およそ7～8cm、厚さ1cm程度の底部を作るところから始まります。続いてひも状の粘土を作り、土器の側面として積み上げていきます。隙間や段差が無くなるように粘土を指で押さえる作業を繰り返しながら土器をだんだん高く作って行きます。ひも状の粘土の長短により外周が変わるため土器にわずかなカーブができます。ここで、教室の前においた見本の土器を参考にするため見にゆく子どもがいる一方で、積み上げた粘土にできた隙間に気付き丁寧に粘土をなぞる子どももいました。約1時間余りで土器は形を現し、竹へらなどを使って側面に模様を付け、さらに土器の内側に自分の名前を書いて完成となりました。



真剣な表情で土器づくりをする子どもたち



焼き上がった土器を眺める子どもたち

出来上がった土器は、約3週間ほど陰干しにして8月17日に焼きました。8月17日は朝から晴天で、まさに土器焼き日和でした。土器焼きは、「野焼き」で行いました。直径約2m、深さ20cmの地面を掘り下げた即席の焼き場を使って行いました。最初に薪を燃やして焼き場の温度を上げる作業を行い、薪が炭状になって温度が安定した段階で焼き場の周りに土器を並べ、徐々に中心に近づけながら土器焼きを進めました。土器が焼き上がるまでの間、参加した子どもたちは、周辺の遺跡巡りや火起こし体験を楽しみました。当日、参加した子どもたちや付き添いの保護者の中でカメラを持参して熱心に写真を撮っている方が見受けられました。お話を聞いてみますと夏休みの自由研究に使われるそうで感心しました。今回、土器は幸い割れることもひび割れもなく焼き上がりました。子どもの自由な発想で作られた土器は、どこか縄文土器に共通するような個性的でユニークな作品に仕上がりました。（尾崎）

9:平成22年度 長浜市文化財保護普及事業のお知らせ

文化財保護センターでは、普及啓発事業として 子ども考古学教室や^{まがたま}勾玉づくり・火起こし体験・講演などの出前講座をおこなっています。(随時受付)

: 事業の特色

①出前講座の充実

市内小学生を対象として開催される学校や公民館などの学習会に協力します。勾玉づくり、火おこしなどの体験を、担当職員が発掘調査の経験などを活かして子どもたちにわかりやすく解説します。

②展示室の充実

従来の常設展示から、さらに地域にとって興味深いテーマを設定して優れた資料を紹介します。

③講演会と見学会の連動

講演会と見学会のテーマを共通とし、事前に講演会で地元の文化財への興味・関心を喚起し、実地見学会でより理解を深めます。あわせて地域の文化財所有者・管理者と接することによって、文化財保護の重要性をより実感できます。



勾玉づくり教室



講演会



火おこし体験

詳しくは長浜市文化財保護センター (64-0395) にお問い合わせください。

編集後記

今年度も早7ヶ月が過ぎましたが、文化財保護センターでは、さらに普及啓発事業を始め多くの事業により積極的に取り組んで参ります。事業の詳しい募集内容や実施報告については、この紙面でも随時お知らせしていきますので、どうぞよろしくお願いたします。(2010年11月発行)